

「とちぎの共創型実践技術者」の育成



将来にわたり本県の工業を支えていける地域人材を育成するため、これまでの専門分野ごとの工業教育の知識・技能だけでなく、新しい価値を生み出せる思考プロセスを備えた、「とちぎの共創型実践技術者」を育成するための取組を実施し、その効果を検証する。



令和元年度の目標

- システム思考・デザイン思考能力
- 知的財産に関する知識の向上
- M2Mに関する知識及び技術の向上
- 技術英語活用能力の向上

【育成を目指す資質・能力】

学びに向かう力、工業人としての人間性

取組状況



成果と課題

Society5.0時代の地域産業を支える技術者に必要なテーマについて学習機会を設定し、最初の段階として「知識」として知ること。さらに、体験活動をとおして、生徒・教員の「興味・関心」を引き出し、「学びに向かう力」を大きく高めることができた。今後の課題として、「工業人としての人間性」の資質育成については今後も継続しながら、必要な思考法やIoT技術の「技能」を身に付けるとともに、他者とも協働しながら「思考・判断・表現」の活動の場となる学習プログラムへの深化が必要である。